



テーマ：かもめ広場の方向性を考えよう！

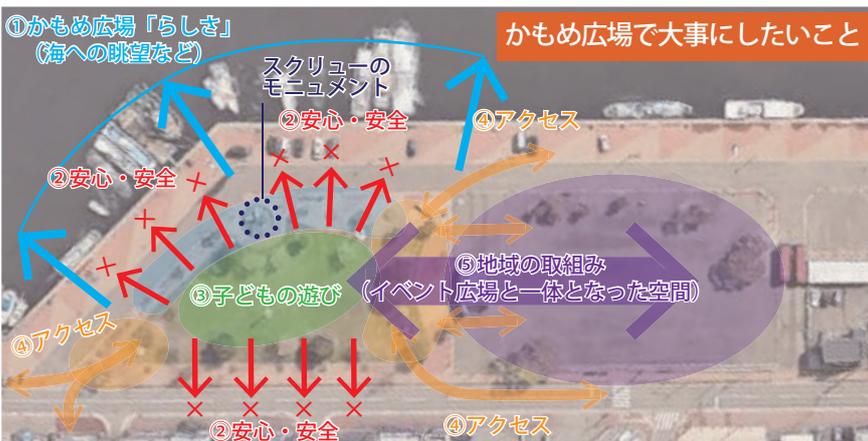
■平日の部 日時：令和7年2月27日（木）19：00～21：00

■休日の部 日時：令和7年3月 2日（日）10：00～12：00

これまでのワークショップで話し合った計画地の利用イメージをもとに、事例写真などを見ながら「かもめ広場の目指すインクルーシブな広場とは何か」についてアイデアを出し合いました。今回は子育て世代の意見も伺いたいとの声を踏まえ、平日と休日の2回開催し、地域のおさまや保護者、障がいのある方など多くの方々と楽しく話し合いました。

前回の振り返り、アンケート結果の紹介

前回出た意見をもとに、かもめ広場で大事にしたい5つの項目（①かもめ広場「らしさ」、②安心・安全、③子どもの遊び、④アクセス、⑤地域の取組み）について振り返り、第1・2回合併号ワークショップニュースで実施したアンケート結果より、ワークショップに参加いただけなかった方も含めたご意見を紹介しました。



アンケート結果

《利用頻度》は、年に数回利用（40.7%）が多い一方、ほぼ毎日利用（11.1%）している方もいました。《利用目的》は、子どもの遊び場（63.0%）としての利用が最も多く、《利用したことがない》方の理由は、子どもを遊ばせる場所がない（33.3%）、近寄りにくいイメージがある（33.3%）という意見が多く、子どもの遊び場のニーズや、広場を利用する上で安全面へ配慮することの重要性を示す結果が得られました。

Q 現在の利用で感じていること

- ・静かで穏やかな、ゆっくり過ごせる地域に愛されている広場
- ・遊具があったら良い
- ・海が近いので、それを活かした遊び場や、海を眺められる高台
- ・好きに走り回れる広いスペースは貴重
- ・子どもが道路に出ないか、海の方に行かないか、かなり気を遣う
- ・トイレは死角が多く、防犯上不安になる

Q リニューアルで期待すること

- ・子どもだけで遊びに行ける安全な場所
- ・新しい観点が入ることにより現状の良さを崩すのは良くない
- ・老若男女が自然と集まり散歩ができる動線やピクニックができる芝生
- ・遊具を囲って大人が近くに座って見守れるベンチや暑さ対策の木陰
- ・安全に楽しめる開放的な広場
- ・色んな子どもたちが一緒に遊べるきっかけ

（一部抜粋）

■ワークショップ全体の流れ

第1回 令和7年2月2日（日）10：00～12：00 済
 「港の魅力を見つけ、インクルーシブな子ども広場について知ろう！」
 現地確認をして感想を話し合う

第2回 令和7年2月4日（火）19：00～21：00 済
 「かもめ広場の目指す姿を想像しよう！」
 「ならでは」のインクルーシブを考え合う

第3回 今回
 ■平日の部 ※内容はどちらの部も同じです
 令和7年2月27日（木）19：00～21：00
 ■休日の部
 令和7年3月 2日（日）10：00～12：00
 「かもめ広場の方向性を考えよう！」
 計画案のたたき台について意見し合う

第4回 令和7年3月25日（火）19：00～21：00 次回
 「かもめ広場の将来を描こう！」
 計画案のまとめ

■当日（2/27、3/2）のプログラム

1. 開会・はじめに
2. 前回の振り返り・自己紹介
—— ワーク① ——
3. 「方向性を検討しよう！」
〈休憩〉
—— ワーク② ——
4. 「図に表現してみよう！」
維持管理・運営について
5. 講評（まとめ）
6. 閉会



ワークショップの概要説明のようす

ワーク①方向性の検討、ワーク②リニューアル後の維持管理・運営の視点からどう考えるか？

これまでのワークショップでみなさんと話し合った「かもめ広場で大事にしたいこと」を踏まえ、「①想定する利用者層」と、「②安全性と開放性のどちらを重視するか」の2つの論点から検討した3つの整備パターン案について話し合いました。

A案：子どもの遊び・広場利用重視案

子どもの利用 + 安全性重視



築山・起伏のある芝生 地形を活かした滑り台 まわる、はねる遊具 日陰をつくる屋根

■平日の部：2/27（木）

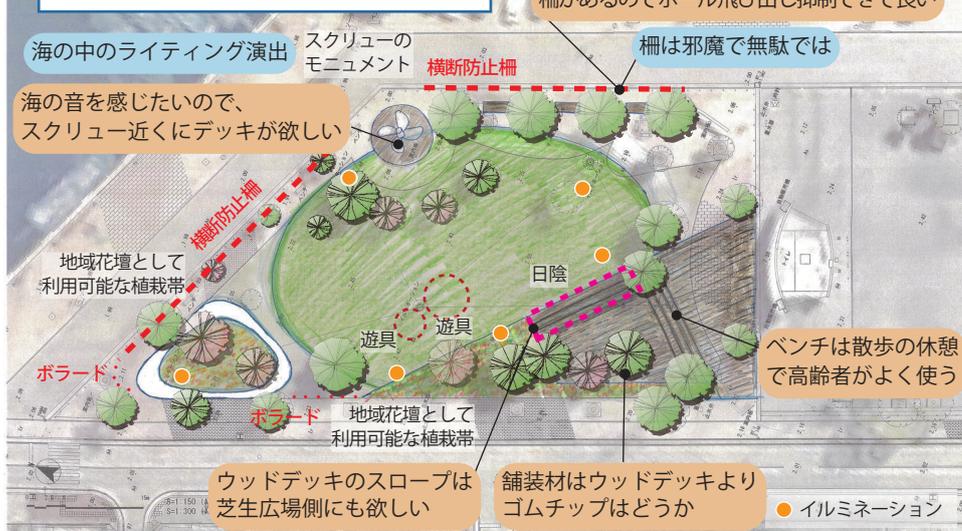
- ・築山は現在のフラット感を失う懸念がある
- ・起伏や構造物は見通しが悪くなり、車いすの人は海が見えなくなるのではないかと
- ・安全面・防犯面が気になり、子どもだけで遊べない現状にそぐわない案ではないか
- ・広場の良さを損なわない範囲での遊具は良いのではないかと
- ・近くに大濠公園があるのでかもめ広場は差別化したい

■休日の部：3/2（日）

- ・施設や構造物を増やさず、芝生広場をできるだけ残してほしい
- ・地形を活かした滑り台があるのが楽しそうで良い
- ・遊具がたくさんあり、小さな子どもが遊べるようにしたい
- ・大人が楽しめる施設を増やしてほしい

B案：多世代に親しまれるバランス重視案

多世代の利用 + 安全性と開放性の両立



花壇ベンチ 縁台ベンチ ウッドデッキ ボードゲームで地域交流

■平日の部：2/27（木）

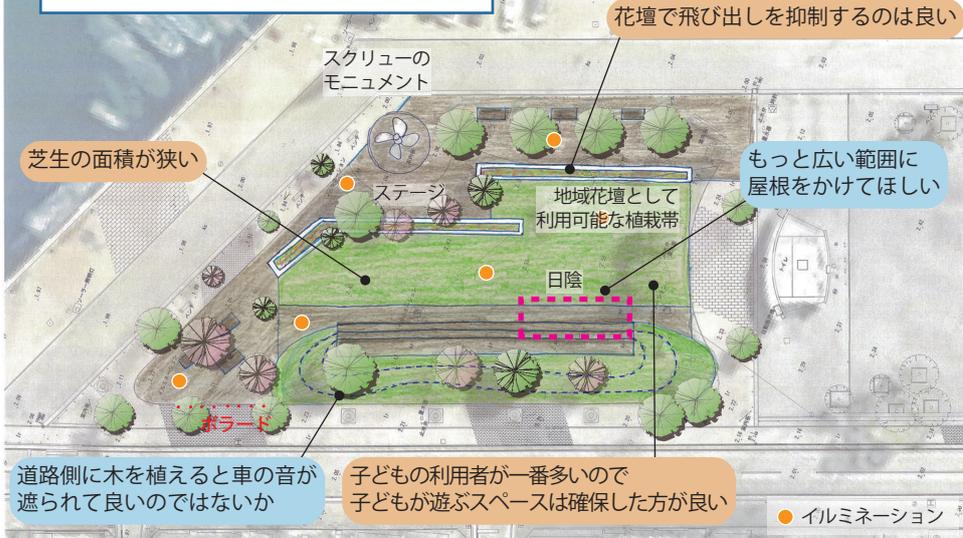
- ・芝生広場に、テーブル、ベンチ、屋根があるとさらに活用の幅が広がる
- ・利用者は高齢者や大人の利用が多く、子どもメインの場所ではない
- ・維持管理・運営は誰がどのようにするのか
- ・ウッドデッキは維持管理が心配

■休日の部：3/2（日）

- ・地域の利用もでき、子どもの遊び場もあるので理想的な案
- ・地域住民で花壇の手入れをするイベントなど、多世代の広場利用を増やすための仕組みがあったら良い
- ・子どもに花を育てる体験をしてもらうなど、感受性を育む機会ができることはよいことだ

C案：眺望・佇み空間重視案

地域住民と来街者の利用 + 開放性重視



ステージとして利用 車いすで管理できる花壇 階段デッキ・テラス (左：夜景、右：昼景)

■平日の部：2/27 (木)

- ・今の良さを損なう（芝生面積が減る）ため、この案は反対
- ・港地区、かもめ広場の魅力を大事にすることが地域外から人を呼ぶことにつながるのでは
- ・広場内の禁止事項を少なくしたい
- ・車いす利用者の視線からは海が見えにくい

■休日の部：3/2 (日)

- ・子ども向けの案ではないが、多世代が利用しやすくしてほしい
- ・特別支援学校の子どもが遊べる遊具のある広場にしてほしい
- ・車いす利用者が花や土に触れることができる高さの花壇は良い
- ・楽器の演奏などのステージ利用は良いと思うが、音の問題は地域住民とトラブルになりそう

アイデアの発表・意見交換

グループごとに話し合った意見を発表し、「かもめ広場におけるインクルーシブの意味」や、「岸壁、イベント広場を含めた範囲での維持管理・運営」について活発な意見交換を行いました。

かもめ広場における、インクルーシブの意味を考える

■平日の部：2/27 (木)

- ・かもめ広場は地域に非常に愛されて築きあげられてきた空間であると改めて認識した
- ・現在、広場はイベントスペースとして利用され、起伏のないフラットで広い芝生広場を地域の利用者は大切にしている
- ・今ある広場の良さに魅力をプラスしてより良くしていく
- ・みんなが親しめる「ひなたぼっこ」ができる広場にしたい
- ・限られた敷地の中に新しいものを入れて何かを両立させるのは難しい
- ・今までこれなかった人が来てもらえる空間にするためには、ハード面だけでなくソフト面で考えていく
- ・アートを取り入れると良い
(トイレやスクリーユのモニュメント)

■休日の部：3/2 (日)

- ・地域の子どもや高齢者、障がいのある方・ベビーカー利用者などの利用を増やす仕組みを取り入れてはどうか
- ・様々な子どもが身体的能力に合わせて楽しめる遊び場（地形を活かしたすべり台）があると良い
- ・高齢者もゆっくりできるテラス・日陰、健康遊具を置くと良い
- ・一人一花運動のようにみんなで花壇管理をするなど、地域が参加しやすくなる仕掛けをつくっていく

岸壁や、イベント広場を含めた範囲で、維持管理・運営を考える

■平日の部：2/27 (木)

- ・管理者や維持管理、運営条件を整理する必要がある
- ・木のデッキの維持管理やゴミ問題、浮浪者のトイレ占有問題等様々な課題に対して取り組んでいく必要がある

■休日の部：3/2 (日)

- ・海寿会、福岡市、まちづくり協議会、地域住民で、管理やメンテナンスの役割分担をすることで、管理する人が変わっても持続する仕組みが必要である
- ・綺麗な芝生や花壇を維持するために、事前に誰がどのように管理を行っていくか話す必要がある
- ・5年後 10年後、その先も地域に愛される場所するため、イベントの運営・企画を恒例化していきたい



発表の様子 (左：平日の部、右：休日の部)

講評（まとめ）

3つの整備パターン案を確認して、維持管理や運営も含めた2回の話し合いの中で、新たに設置する施設や空間構成を考えるうえで大事にすべきことが見えてきました。

■平日の部：2/27（木）

①現状の魅力を伸ばす豊富なアイデア

港の風景や地域のみなさんの熱意や愛情を込めたイベント等が大きな魅力になっている。海の照明、広い屋根、アートを取り入れるなどの多様なアイデアを活かしながら、現状の魅力にプラスして将来計画に結び付けていくことが重要である。

②本当の意味でのインクルーシブとは

「遊具がなければいけない」、「フェンスで囲う」などがインクルーシブの必要条件ではない、親しみやすい場にしていく「ひなたぼっこ」のイメージを大事にする意見や、「そこ入ってはダメ」などの注意喚起の仕方を見直してはどうかとの意見など、みんなが楽しめるイメージを意識する意見があがっており、多様な形で包摂性（インクルーシブ）を考える必要がある。



グループワークの様子（左：平日の部、右：休日の部）

■休日の部：3/2（日）

①安全

転んで怪我をしないようにという心配から、海への転落事故の防止、トイレの防犯面を含めた対策など安全の確保をトータルに考える必要がある。

②管理

安全管理、施設管理、清掃管理(犬の糞、草刈り)、植栽管理、利用管理(スケボーなどの利用に関する注意喚起)、リスク管理(防災や津波への対策、救急の対応など、広範囲に及ぶ管理について考えていく必要がある。

③運営

騒音対策やイベントなど、住民意識に支えられた長続きする運営を考える必要がある。



グループの意見



まとめの様子

次回のお知らせ

第4回

令和7年

3/25(火) 19:00~21:00

「かもめ広場の将来を描こう！」

場所：箕子公民館 3階 講堂

●お申込み方法 以下のいずれかでお申込みください

①QRコード

QRコードより参加申し込みができます。



②Eメール

①氏名 ②人数 ③ご連絡先（メールまたは電話）
④配慮が必要な事項（介助、子どもの見守りなど）
をご入力して、下記連絡先へお送りください。
✉ MAIL : shibata.s15@city.fukuoka.lg.jp

③お電話／ファックス

TEL : 092-711-4410
FAX : 092-733-5590

※切後参加も可能ですので、お気軽にお問い合わせください！

【申込×切】 3月18日（火）17時まで

介助が必要な方も、お子様連れも、大歓迎！

※ 安心してご参加いただけるよう見守りスタッフを配置します
※ お手伝いが必要な方は、事前にその旨お知らせください

今回は、これまでのみなさんの意見をまとめたりリニューアル案をお持ちします。具体的な整備案について図面やイメージスケッチを見ながら話し合いますので、是非ご参加ください！



[担当・お問い合わせ]

福岡市住宅都市局公園部整備課 柴田・中川

TEL : 092-711-4410 MAIL : shibata.s15@city.fukuoka.lg.jp